

システム全般

- MacOS 10.14 と 10.14.1 に対応。
- [テーブル/フィールド選択ウィンドウ](#)が詳しくなりました。テーブルと使用可能なフィールドに関する追加情報が表示されます。各テーブルのレコード数、アタッチメントタイプ、および説明情報がリスト表示されます。フィールドについてはタイプが表示されます。どちらのリストも、項目数が多い時は任意の列でソートできます。

WebGIS - 図形タイルセットのエクスポート

- TSD (タイルセット定義) ファイルに階層的構造の凡例を作成します。
- グループおよびサブグループに、「簡潔」および「詳細」説明フィールドを追加できます。
- データティップや凡例の名称に別々の属性を設定できます（「簡潔」と「詳細」フィールドに指定する）。
- KML タイル出力時、情報ウィンドウに名称を含めるかどうかをトグルボタンで切り替え可能。
- 「表示」ウィンドウは、[メインウィンドウ上部のボタン](#)に変更。このボタンを押すと表示ウィンドウが開きます。
- 似たようなコントロールが多数あるので、それぞれの使う状況を説明するツールチップを表示します。

WebGIS - Geomashup の構築

- グループやサブグループの階層構造を持った凡例がサポートされました。凡例のサイドバーから、グループやサブグループの対象の地物へのズームとハイライトが可能。
- SVG タイルセットのサポートを強化。ホバーとクリック操作および関連する凡例のコントロール。
- KML または TSD から複数のリモートレイヤを追加する場合は、すべてのレイヤに同じカスタム設定を適用します。
- グループ化されたレイヤのズーム範囲を設定すると、個々のレイヤにも適用されます。
- Google マップ : 衛星写真とハイブリッド (衛星写真とラベル) には、別々のベースマップオプションを設定できます。
- 一般的な Web 仕様に準拠した HTML を生成します。
- レイヤへの様々な設定のツールティップ (説明バルーン) を増やし、使用方法を明確にしました。

WebGIS Google Maps JavaScript

- Javascript ライブラリファイルが新しくなり、以前の動的凡例機能で使われたライブラリファイルと入れ替わりました。
- ブラウザでジオマッシュアップを開くと、レスポンスが早い階層凡例が生成されます。階層的な凡例機能は、SVG ポリゴンタイルセットでも使用できるようになりました。

- 新しい凡例は、マップビューに表示されている地物に基づいて更新する必要も、凡例情報に関してタイルファイルを調べる必要もなくなるため、ブラウザのオーバーヘッド（処理時間）が少なくなります。したがって、マップビュー初期表示や操作時の凡例の構成が速くなりました。さらに、凡例はすべてのマップズームレベルで使用できます。
- 凡例にあるフォルダと地物レベルのチェックボックスとグルを使って、マップ上の地物や地物グループを表示/非表示できます。
- 凡例のフォルダは展開可能で、すべてのレベルでサブフォルダと地物の表示/非表示ができます。フォルダアイコンをクリックして開閉することで、凡例の表示内容をコントロールします（これまで通り、地物レベルでは、地物の色のカラーサンプルが表示されます）。
- 凡例の地物名とフォルダ名は、従来から動的凡例で使用されていた地物名と情報から個別に設定します（「図形タイルセットのエクスポート（Export Geometric Tileset）」を使用）。
- フォルダおよび地物レベルの凡例の項目名にカーソルを合わせると、マップ内の地物または地物のグループが強調表示されます。凡例テキストにカーソルを合わせると、ホバーチップテキストも表示されるようになりました(タイルセットの作成時に設定)。
- 凡例アイテムをクリックすると、マップ上の地物（または地物グループ）が拡大表示されます。
- フォルダまたは地物名の横にある情報アイコンを使って、地物（または地物グループ）に関する追加情報を表示できます。これをクリックすると、地図上の地物の場所に情報バルーンが開きます（カーソルを乗せた時の吹き出し（ホバーティップ）と、マップ上でクリックしたときに情報バルーンで使用される名前や説明は別です）。
- 地物上にカーソルが乗ると、地図上の地物と凡例の該当地物名がハイライト表示されます。この動作は以前と同じですが、凡例がプリロードされているためレスポンスが早くなっています。

- 新しい TSD 凡例構造のないタイルセットは、チェックボックス（レイヤの表示オン/オフ）付きレイヤ名（クリックするとマップがズームする）の凡例で表示されます。非階層凡例レイヤには、凡例構造のない KML ファイル、KML タイルセット、SVG タイルセットがサポートされています。

表示

- Bing Maps – v2019 用のすべての TNTgis Pro ライセンスは、引き続き Microsoft Bing Maps レイヤを使用可能です。v2019 をインストールしてアクティブ化すれば以前のバージョンの TNTgis にも適用されます。
- ビューインビューツールは MacOS 用に最適化され、パフォーマンスが向上しました。
- インストールされていない「Datum 変換」オプションを参照するレイヤを追加すると、インストール手順が表示されます。

[手順書（日本語）](#) ↓

http://www.opengis.co.jp/info/v2018/TNTgis_DatumTrans_201802.pdf

- KML にレンダリング：回転したポイントシンボルをサポートします。制御文字をアンダーバーに自動で変換出力し、Google Earth で使えるようにします。

画像の分類

- この処理は 2019 年に再設計されました。トレーニングクラスを定義し、結果クラスを操作するためのすべての主なコントロールが [メインウィンドウ](#) に統合されました。

- 表示可能な情報量を最大にするために補助ウィンドウ ([同時生起度](#)、[樹状図](#)、比較/エラー行列など) が更新されました。
- クラスの[マージ](#)が高速になりました。"[マージを元に戻す](#)"操作も同様です。これにより、マージ結果を確定して保存する前に、簡単にテストできます。
- コンポジットカラーラスタをセパレートバンドラスタと一緒に入力ラスタとして選べるようになりました。
- レンジやその他の調整は、入力ラスタごとに個別に指定することができ、すべての入力値がリスト表示されます。
- トレーニングクラスのデフォルトの色の透明度は 50%ではなくなりました。クラスごとにカラーエディタを開閉しなくても、すべてのカラーを一度に編集できます。クラスの色を編集すると、全画面が即座に更新されます。
- クラス名に文字数の制限がなくなりました。
- 入力に「損失の多い」圧縮を使用して結果に影響がある場合は、警告メッセージが表示されます。
- メソッド固有のパラメータのデフォルト値は、後で実行するために保持されます。

イメージのインポート/エクスポート

- GeoTIFF : インポート時にタイポイントを追加検証し、無効な場合は代替ソースからジオリファレンスを読み取ります。
- E00 : 500 文字を超える可能性のあるフィールドをエクスポートするときの、Latin1 以外の言語の処理を改善しました。

データベース-図形変換

- 空間オブジェクト（ベクタ、ラスタなど）に含まれるデータベースから変換する場合は、そのオブジェクトのジオリファレンス情報を使用してデフォルトの座標参照系を決定します。

スクリプト/SML

- ObjectToMap / MapToObject を修正。「ラスタインデックス」ではなく「座標」を求めて、他の変換方法と一致するようにしました。
- 参照されたオブジェクトが破棄され、関数呼び出しによって再び生成されたときに、スクリプト変数エイリアスを更新するいくつかのケースを処理します。
- LayerRaise と LayerLower は、レイヤの位置が実際に変更されたかどうかを示す値を返します（すでにそれぞれ上端または下端にあった場合）。
- WatershedGetObject 関数の "TopographicIndex" オプションを追加。
- LineStyleResetDrawnState 関数を追加。Cartoscript 以外の図面に戻します。

画像の空間フィルタ

- メディアンベースのフィルタ "Median"、 "P-Median"、 "MLM"、 "Olympic"、 "AMPM"などを高速化するため最適化しました。

座標参照/データム変換

- Easting 座標に「ゾーン」を含む UTM CRS 変数を追加。
- グリッド法を使用して、IGN NTF から RGF93 へのデータム変換をサポート。

その他の変更

- ラスタのしきい値の決定（Raster Thresholding） - 入力ラスタの "null"セルを有効にして出力するオプションを追加。
- 画像レンズ補正（Image Lens Correction） - 新しいカメラとレンズを追加。
- GPS デバイス接続は最大 99 のポート番号が利用可能です。
- [Google Fusion Tables は廃止されました](#)。インポート/エクスポート、ジオマッシュアップの構築、表示等、Fusion Tables を使用する TNTgis プロセスで、この変更が適応されています。現在 Fusion Tables に保存されているデータは、できるだけ早くダウンロードする必要があります。上のリンクにその手順があります。

テーブル/フィールド選択ウィンドウ

V2019 レコード数やアタッチメントタイプなどの情報が表示されます



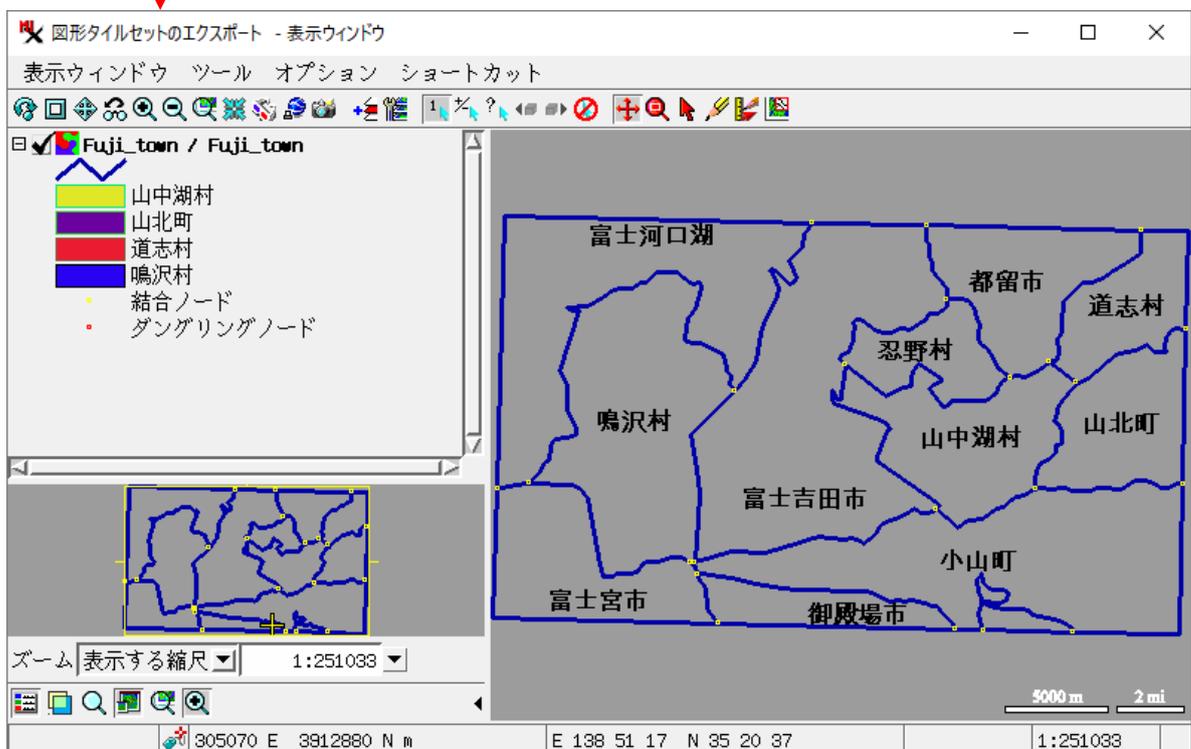
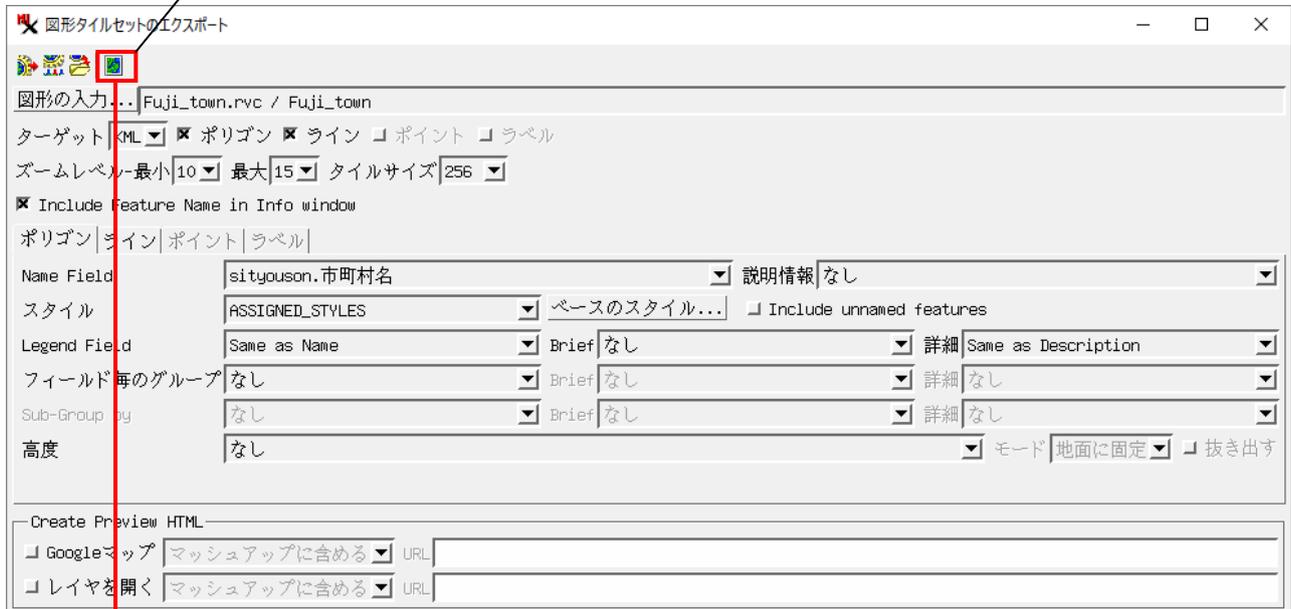
V2018 以前 テーブル名とフィールド名のみ



本文に戻る 

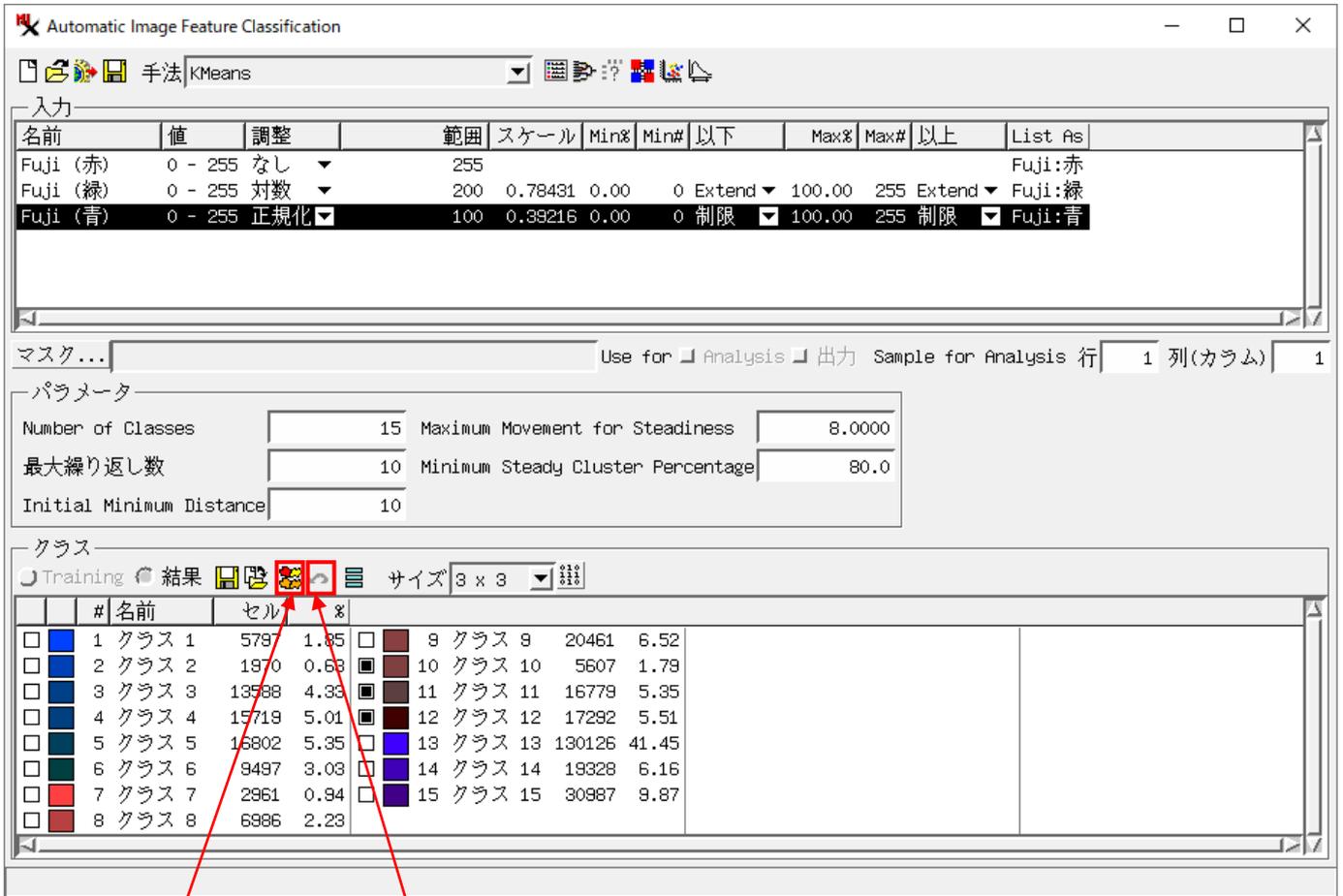
図形タイルセットのエクスポート ～メインウィンドウ上部のボタン

[表示ウィンドウ]ボタン



本文に戻る 

画像の分類 ～メインウィンドウ



選択したクラスのマージ

元に戻す

[本文に戻る](#)

画像の分類

同時生起度

Classification Co-occurrence Analysis

Class Size: パーセント Cooccurrence: Normalized Separation: Euclidean

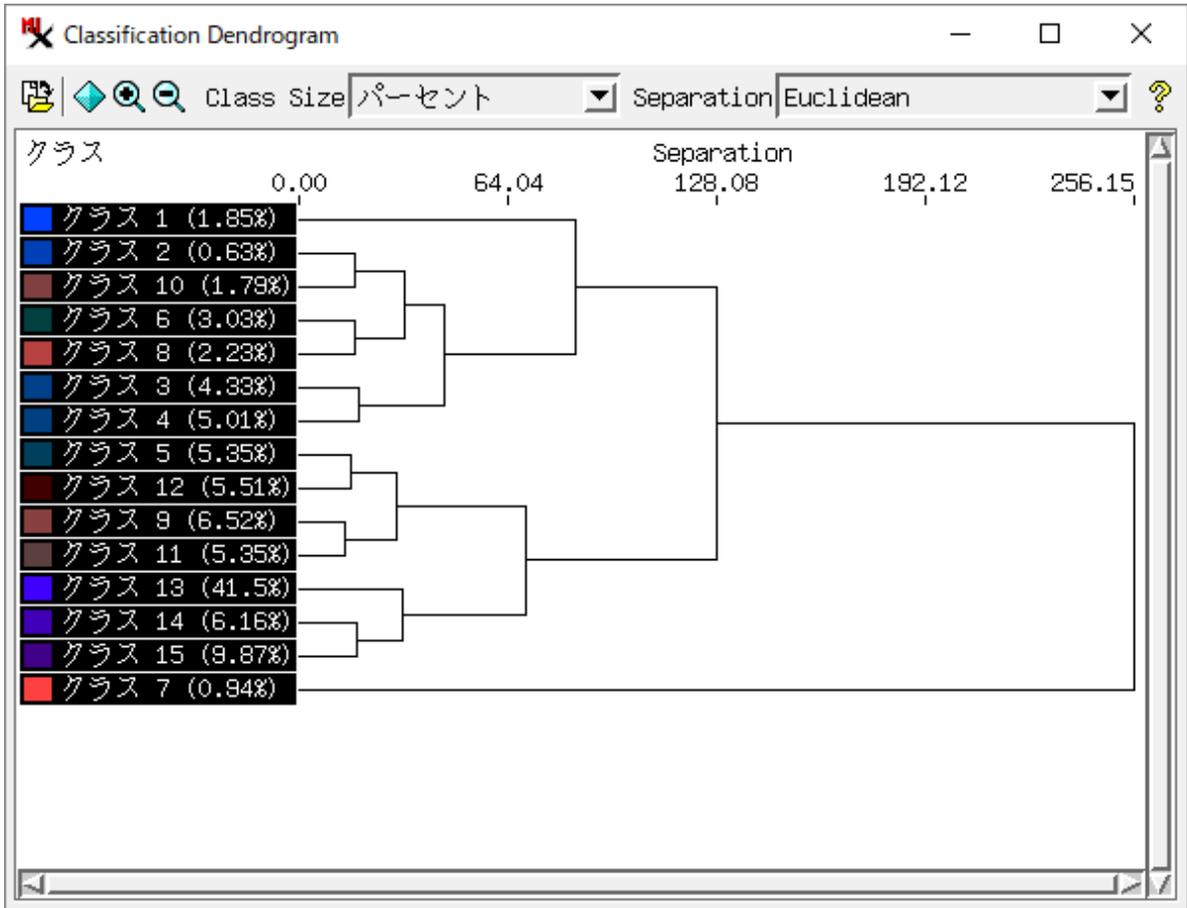
最高の同時生起: Lowest Separation:

| | 1 1.85% | 2 0.63% | 3 4.33% | 4 5.01% | 5 5.35% | 6 3.03% | 7 0.94% | 8 2.23% | 9 6.52% | 10 1.79% | 11 5.35% | 12 5.51% |
|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|------------------|
| クラス 1 1.85% | 11.713 | 5.082 33.031 | 6.439 95.184 | 4.349 112.827 | 2.601 130.008 | 7.718 77.988 | 12.751 118.083 | 8.621 61.023 | -0.571 173.642 | 13.138 42.161 | 0.342 159.783 | 1.111 145.58 |
| クラス 2 0.63% | 5.082 33.031 | 1.148 | 2.771 62.888 | 2.199 80.318 | 1.563 97.407 | 2.561 46.204 | 2.634 138.894 | 3.276 29.787 | 0.470 140.977 | 2.481 16.902 | 0.549 127.121 | 1.041 112.93 |
| クラス 3 4.33% | 6.439 95.184 | 2.771 62.888 | 14.247 | 30.416 18.146 | 22.150 35.699 | 23.605 17.890 | 2.200 190.295 | 14.549 34.860 | 6.065 80.408 | 10.293 55.586 | 8.547 66.148 | 14.521 51.77 |
| クラス 4 5.01% | 4.349 112.827 | 2.199 80.318 | 30.416 18.146 | 15.496 | 31.710 17.554 | 18.041 36.036 | 1.492 203.760 | 10.623 52.942 | 10.940 62.284 | 2.481 73.706 | 13.460 48.010 | 21.021 33.63 |
| クラス 5 5.35% | 2.601 130.008 | 1.563 97.407 | 22.150 35.699 | 31.710 17.554 | 15.053 | 12.571 53.589 | 1.030 217.382 | 7.031 70.459 | 16.349 44.761 | 3.854 91.241 | 18.158 30.468 | 30.231 16.11 |
| クラス 6 3.03% | 7.718 77.988 | 2.561 46.204 | 23.605 17.890 | 18.041 36.036 | 12.571 53.589 | 9.754 | 2.860 177.786 | 15.330 17.147 | 2.318 98.290 | 12.179 37.736 | 4.020 84.031 | 7.271 69.65 |
| クラス 7 0.94% | 12.751 118.083 | 2.634 138.894 | 2.200 190.295 | 1.492 203.760 | 1.030 217.382 | 2.860 177.786 | 7.431 | 3.639 164.708 | -0.502 252.856 | 4.995 152.795 | -0.198 241.557 | 0.381 229.68 |
| クラス 8 2.23% | 8.621 61.023 | 3.276 29.787 | 14.549 34.860 | 10.623 52.942 | 7.031 70.459 | 15.330 17.147 | 3.639 164.708 | 6.628 | 1.100 115.004 | 12.492 20.811 | 2.162 100.817 | 4.061 86.44 |
| クラス 9 6.52% | -0.571 173.642 | 0.470 140.977 | 6.065 80.408 | 10.940 62.284 | 16.349 44.761 | 2.318 98.280 | -0.502 252.856 | 1.100 115.004 | 16.306 115.004 | -0.654 135.813 | 29.652 14.320 | 22.781 28.65 |
| クラス 10 1.79% | 13.138 42.161 | 2.481 16.902 | 10.293 55.586 | 8.547 66.148 | 3.854 91.241 | 12.179 37.736 | 4.995 152.795 | 12.492 20.811 | -0.654 135.813 | 8.296 | 0.172 121.620 | 1.381 107.24 |
| クラス 11 5.35% | 0.342 159.783 | 0.549 127.121 | 8.547 66.148 | 13.460 48.010 | 18.158 30.468 | 4.020 84.031 | -0.198 241.557 | 2.162 100.817 | 29.652 14.320 | 0.172 121.620 | 10.299 26.22 | 26.221 14.37 |
| クラス 12 5.51% | 1.111 145.583 | 1.049 112.939 | 14.529 51.770 | 21.020 33.636 | 30.232 16.110 | 7.273 69.652 | 0.387 229.683 | 4.064 86.447 | 22.787 28.653 | 1.380 107.247 | 26.228 14.378 | 13.821 |
| クラス 13 41.45% | -22.484 230.598 | -6.779 197.999 | -41.901 138.193 | -41.309 120.084 | -36.657 102.570 | -32.786 156.050 | -12.297 302.237 | -24.816 172.685 | 3.241 57.809 | -21.653 193.493 | -8.659 72.117 | -25.901 86.46 |
| クラス 14 6.16% | -0.980 188.463 | 0.379 155.809 | 4.981 95.456 | 8.435 77.335 | 12.568 59.811 | 1.552 113.325 | -0.908 265.499 | 0.542 130.027 | 35.192 15.051 | -1.239 150.837 | 22.495 29.357 | 17.291 43.70 |
| クラス 15 9.87% | -2.647 206.137 | 0.090 173.505 | 3.485 113.410 | 8.007 95.294 | 13.931 77.775 | -0.065 131.273 | -2.014 280.729 | -1.020 147.943 | 42.324 33.014 | -2.758 168.754 | 28.572 47.320 | 22.811 61.66 |

本文に戻る 

画像の分類

デンドログラム (樹状図)



[本文に戻る](#) 